



後藤祥子さん

有資格障がい者の働く場所がない

後藤祥子さんは、滋賀県の聴覚障がい福祉施設でボランティアをしているとき、ここで聴覚と視覚に重複障がいを持つ20代の女性から、「あん摩マッサージ指圧師の免許があっても活かさない」という悩みを聞きました。患者とのコミュニケーションがとりづらい、就業地まで移動しにくいなどといった理由で、意欲があっても働く場所が少ないのです。

健常者の何倍も苦勞し、頑張っ取った国家資格。なんとか障がい者の就業意欲を活かせる場を創出できないのか…。女性と知り合ったころ、後藤さんは同志社大学大学院に在籍していました。障がい者の雇用や授産など社会的価値のある起業を研究していたこともあり、彼女たちが活躍できる方法を考えました。

同時に、家業を手伝う中で現代人が抱えるストレスの大きさも気になっていました。わざわざマッサージ店へ行く暇がない人も、有資格者を職場へ派遣すれば、休憩時間に施術してもらえます。それでストレス解消できれば、作業効率が上がって企業にとっても有益でしょう。そこで、社会貢献を心がける大学や企業と協働し、施術の機会をつくってはどうかと思ったそうです。

NPO法人を設立し常設コーナーを開業

後藤さんはこのアイデアをゼミの教授にサポートしてもらい、まずは実験的に出町商店街の七夕祭り夜店で10分500円のワンコインマッサージを出店したところ好評でした。その後大学内でも実験し好評。これは、かつてゼミ旅行をしたとき、露店でマッサージを行っていたのがヒントになったとのことです。

これらの試みに好評を得たことで、障がい者へ仕事の場を創出することを使命に、学校や会社へのマッサージ出張サービスを行うNPO法人もみ・に・行くを設立。同志社大学の御好意により、平成23（2011）年7月18日に同志社大学継志館2階で施術コーナーをオープンしました。

プールの更衣室横にテントで覆ったコーナーには、ファンドで購入したベッド2台と低周波治療器を置きました。専属マッサージ師は一人で、営業は毎週月・水・金曜の午前10時～午後6時。料金は20分1,400円からと利用しやすい設定としています。

サービスの認知度を高める努力を

ところが蓋を開けてみれば、予想したほど集客はできませんでした。開設に精一杯で広報に力を十分かけられな

かったのが、一因でしょうか。今後はチラシやホームページ、それからお客様への特典供与など工夫していきたいとのことです。

出張サービスのほうは、要望のあった場所にマットやファンドで購入したマッサージチェアを持参し、空きスペースを利用してマッサージを提供します。東京では、このオフィスマッサージの成功例もあるそうですが、京都ではまだまだとのこと。

「企業が福利厚生的一端として利用するようになれば、障がい者には雇用機会が増え、会社員は働きながら休憩時間にコリをほぐして気分はすっきり、労働意欲のアップにもつながるでしょう。双方のメリットをもっとアピールして、障がい者マッサージ・デリバリーサービスの認知度を高めていかなければなりません」と、後藤さんは今後の目標を語ります。



低周波治療器とベッド2台を置いたコーナー

ソーシャルビジネスモデルの成功例に

「出張サービスについては中京区の貸し町家できちんと定期的に開設できる場所を増やしていかなければなりません。この活動はソーシャルビジネスモデルとしても見てほしいし、職員の福利厚生にも役立つと思います。ですから本当は、学舎の中や教職員が集う場所で開くのが理想なんです。とはいえ私一人では、人を雇って開業というところまでこぎ着けられなかったでしょう。おそらく夢で終わっていたと思います。ファンドに後押ししていただき、頑張る気力と根性も頂戴しました。助成金をもらった以上は最前の努力をして、次の一手を考えます。当面は、もう一人雇って週3回から毎日開店にしていきたい」と後藤

さん。

もみ・に・行くを始めて、北海道や九州など遠方からも問い合わせがあることに驚いたそうです。大勢の障がい者が、働く場を求めている現状。社会で必要とされている仕事だからこそ、ぜひとも成功していただきたいものです。



移動式のマッサージチェアもファンドで購入

事業概要

特定非営利活動法人 もみ・に・行く

<http://npo-mominic.com/>

代表：後藤祥子

業種：マッサージ出張サービス及び施術所

創業：平成20（2008）年

住所：〒602-0932

京都市上京区新町今出川下ル徳大寺殿町 345

同志社大学 継志館 2階

TEL：090-9695-7719